

2021年5月21日（金）

HTB ノンフィクション「たづ鳴きの里～タンチョウを呼ぶ農民たちの1500日～」

第36回農業ジャーナリスト賞を受賞

HTB 北海道テレビが制作した「HTB ノンフィクション たづ鳴きの里～タンチョウを呼ぶ農民たちの1500日～」(2020年6月27日(土)13:30-14:25 北海道ローカル放送)が、第36回農業ジャーナリスト賞を受賞しました。

農業ジャーナリスト賞は、農業関係の報道、解説、出版に携わるジャーナリスト、研究者および企業や団体の広報担当者などで構成された農政ジャーナリストの会が主催し、農林水産業、食料問題ならびに農山漁村の地域や環境に関する優れた報道(ルポルタージュ、連載企画、出版物、放送番組等)を通じてジャーナリストとして顕著な業績をあげたものを年に一度、表彰しています。HTBは初めての受賞となります。

同番組は、かつて絶滅寸前までに追い込まれた国の天然記念物タンチョウを呼び戻す運動を続ける農民たちを5年にわたり現地で取材し、四季折々の美しい映像を交えて描いたドキュメンタリーで、現地では100年以上ぶりとなるタンチョウの繁殖や貴重なヒナの撮影にも成功。第62回科学技術映像祭では最高賞となる内閣総理大臣賞を受賞しました。

講評では、「農家に寄り添って番組を作っている。見る人を飽きさせない。作り方もうまい。生きものに対する農家の心情が丁寧に丹念に描かれている。四季折々の田園風景の映像も美しい人々の愛が伝わる感動的な作品。」と評価されました。

今回の受賞について沼田博光ディレクターは、「番組はタンチョウを呼ぶ活動がメインとなっていますが、北海道の農業が抱える多くの問題や、農業のあり方を考えるきっかけにもなったのではないかと思います。深刻な問題でありながら、登場する農家の皆さんの人柄のおかげで、とてもあたたかくて楽しい番組になりました。ツルが来ても皆さんの活動は続いています。私たちも地域がどのように変わっていくのか、引き続き見つけていきたいと思っています」と喜びを語りました。

HTBは今後も地域と向き合った良質なドキュメンタリーの制作に努めてまいります。

※プレスリリースに関するお問い合わせ

HTB 編成部 山崎

TEL : 011-205-7666

メール:yuyamazaki@htb.co.jp

(発行元) 社長室



HTB 北海道テレビは、国連のSDGメディア・コンパクトに加盟しています